

IP テレフォニーシステム CL シリーズ

CL120

電話機の使いかた



技術基準適合認証品

このたびは、「IP テレフォニーシステム CL シリーズ CL120」をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書には本製品を安全に使用していただく為の重要な情報が記載されています。

本書は、実際に電話機を使っていただく方を対象に書かれています。

本製品を使用する前に本書をよく読み、理解した上で、お使いください。

また、本書は本製品の使用中、いつでも参照できるように大切に保管してください。

富士通は、使用者および周囲の方に人身損害や経済的損害を与えないために細心の注意を払っています。本書にしたがって本製品を使用してください。

FUJITSU

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、当社の担当営業までご相談ください。

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

- この電話機システムは日本国内用に設計されています。電圧、電話交換方式の異なる海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話、録音、通話料金管理、FAX 通信、データ通信、その他のサービスの利用ができなかったために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の設置工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本製品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本書の内容につきまして万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社窓口等へお申しつけください。
- 製品の改良のため仕様やデザインの一部を予告なく変更することがありますのでご了承ください。

発行元の許可なく本書の記載内容を複写、転写することを禁止します。

All Rights Reserved, Copyright © 富士通株式会社 2010

安全にお使いいただくために必ずお読みください

● 本書について

本書には、本製品を安全に使用していただくための重要な情報が記載されています。本製品を使用する前に、本書を熟読してください。特に本書に記載されている「安全上の注意事項」をよく読み、理解された上で本製品を使用してください。また、本書は大切に保管してください。

ここでは主な電話機の使いかたの一部をご説明しています。詳しくは電話システム（Server）等に添付されている取扱説明書をご覧ください。

また、ご使用の電話システム(Server)のソフトウェアバージョンによっては、動作しないサービスがあります。お買い上げになった販売店等へお問合せください。

● 警告表示について

本書では、お客様の身体や財産に損害を与えないために、以下の警告表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



「 危険」とは、正しく使用しない場合、死亡する、または重傷を負うような切迫した危険があることを示しています。



「 警告」とは、正しく使用しない場合、死亡する、または重傷を負うことがあり得ることを示しています。



「 注意」とは、正しく使用しない場合、軽傷、または中程度の傷害を負うことがあり得ること、当該製品自身、またはその他の使用者などの財産に、損害が生じる危険性があることを示しています。

● 安全上の注意事項

電話機について以下の注意事項をお守りください。

尚、以下の使用条件を厳守しなかった場合、お客様および周囲の方の身体や財産等、また、環境破壊による第三者の身体や財産等に予期しない損害を生じる恐れがあります。



(1) 使用方法について

使用上の注意

- ・本電話機に使用するACアダプターは、指定したものを使用してください。指定品以外のものを使用すると、発熱、破裂させる原因となります。

指定アダプター：FC820AC3



(1) 使用方法について

予想される誤った 使い方の注意

- ・電話機にお茶やコーヒーなどが入ったり、また濡らさないように、ご注意ください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・電話機の近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品等、水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電、故障の原因となります。
- ・電話機には、殺虫剤やヘアースプレー等がかからないようにしてください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・電話機の開口部から、内部にクリップやホッチキスの針等の異物を差し込んだりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・電話機をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。
- ・電子レンジや高圧容器に、電話機本体を入れないでください。電話機本体の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

分解・改造の禁止

- ・電話機を分解、改造しないでください。また、中古品をオーバーホールなどによって再生して使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

接続機器の注意

- ・改造された機器をつながないでください。火災、感電、故障の原因となります。

配線ケーブル類 の注意

- ・LANケーブル、ACアダプターを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・LANケーブル、ACアダプターの上に重いものを乗せないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・LANケーブル、ACアダプターを熱器具に近づけたり、燃えやすい物を置いたり、加熱させたりしないでください。コードの被覆が溶けて火災、感電、故障の原因となります。
- ・LANケーブル、ACアダプターは折り曲げたり、引っ張ったりしないでください。コードが傷つき、火災、感電、故障の原因となります。

(2) 保守・点検について

点検（保守者）の 制限・禁止

- ・内部の点検・修理はお買い上げの販売店に依頼してください。ご自分で行うと、火災、感電、故障の原因となります。
- ・万一、煙が出る、変なにおいがした場合には、電話機本体からLANケーブル、ACアダプターを抜いて、煙がでなくなるのを確認してお買い上げになった販売店等へご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



(1) 使用方法について

使用環境の注意

- ・ 電話機を直射日光の当たる所に置かないでください。内部の温度が上がり、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機を極度に温度の高い所、低い所、温度変化の大きい所に置かないでください。故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機を浴室等の湿気の高い所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機を調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気の当たるような場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機をホコリの多い所に設置しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機をジュウタンやカーペットのような静電気の発生しやすい物の上に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機を硫黄ガスや車の排気ガス等、特殊ガスが当たる場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機を海風が当たる場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

予想される誤った 使い方の注意

- ・ 電話機の上に物を置いたり、周辺に倒れやすい物を置かないでください。けが、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機を振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- ・ 電話機を通路に置かないでください。けがの原因となることがあります。

(2) 保守・点検について

点検・清掃について

- ・ 電話機に水滴がついたら乾いた布で拭き取ってください。放置すると火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機が汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン、シンナー等の有機溶剤は避けてください。電話機が腐食、溶解して火災、感電、故障の原因となることがあります。

(3) 製品の廃棄について

製品廃棄時の注意

- ・ 法人、企業のお客様が本製品を廃棄・リサイクルされる場合は、「富士通事業系 IT 製品リサイクルサービス」をご利用ください。詳しくは、下記のWebサイトをご覧ください。
(<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html>)
- ・ 本製品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な製品です。製品内のデータ流出等の不測の損害等を回避するために、本製品を廃棄（または譲渡、返却）される際には、製品内に登録または保持されたデータを消去する必要があります。詳しくは、お買い求めになった販売店へお申し付けください。

本書の見かた

本書では、IP テレフォニーシステム GL シリーズ GL120 でご利用になれる基本的な機能について説明しています。

その他の機能や登録・設定については、システム管理者におたずねください。

■本書の構成

1章 お使いになる前に

お使いになる前に、知っておいていただきたいことをまとめています。

2章 電話をかける/受ける

電話をかけたり、受けたりする基本的な機能について説明しています。

3章 ご参考に

故障かな?と思ったときの確認方法や、電話機の仕様について説明しています。

■操作説明ページの構成

章タイトル

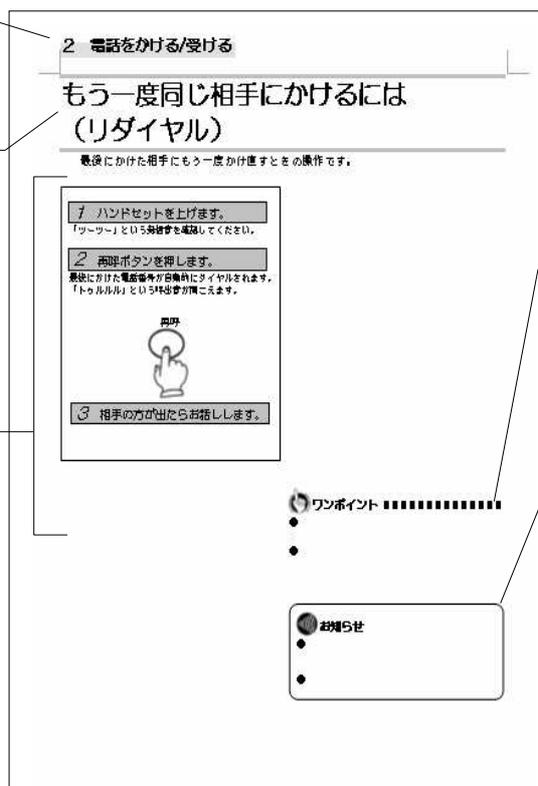
章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル

目的ごとにタイトルが付けられています。

操作説明

順番に操作を説明しています。



ワンポイント

知っておくと便利な事項、操作のアドバイスなどの補足説明を示しています。

お知らせ

この表示は、製品を取り扱う上での注意事項を示しています。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	3
本書の見かた	6

1 お使いになる前に

セットを確認してください	8
各部の名前	9
音色/音量を調節する	10
着信音の音色を切り替える	10
着信音量を調節する	10
スピーカーの受話音量を調節する	10
ハンドセット使用時の音量を調節する	10

2 電話をかける／受ける

電話をかけるには	
(内線発信/局線発信/専用線発信)	11
内線発信	11
局線発信	11
専用線発信	12
ハンドセットを上げずにかける	12
もう一度同じ相手にかけるには	
(リダイヤル)	13
電話を受けるには	
(着信/保留/転送/ピックアップ)	14
着信	14
保留	14
転送	15
ピックアップ	15
他の電話機に自動的に転送するには	
(可変不在転送/話中転送)	16
可変不在転送	16
話中転送	17

3 ご参考に

単体現調について	18
6.0 単体現調について	18
設定データについて	21
6.1 設定データについて	21
故障かな?と思ったら	24
仕様	25

1 お使いになる前に

セットを確認してください

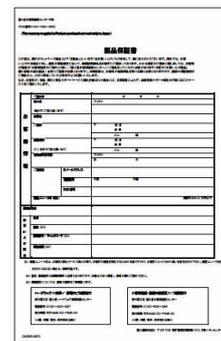
■本体



CL120 (1台)



安全にお使いいただくために (1部)



保証書 (1枚)



使用許諾契約書 (1部)

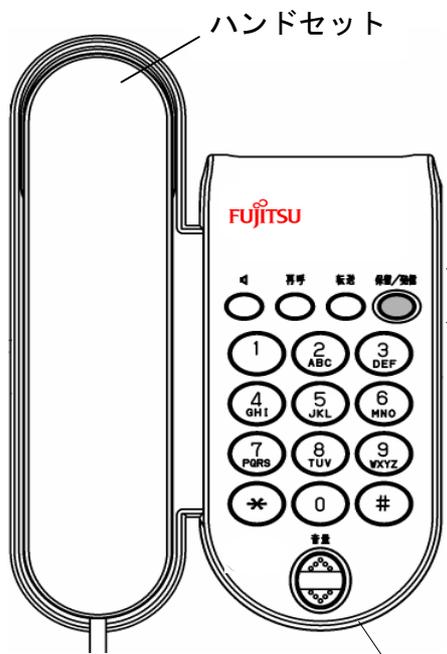
●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

■環境条件

	温度 (°C)	湿度 (%RH)
動作時	0~+40	20~60 (結露なきこと)
保存時	-20~+60	5~90 (結露なきこと)

各部の名前

■ 前面図



固定機能ボタン

- 再呼 最後にかけて相手（内線・局線・専用線）を呼び出すことができます。
- 転送 通話中の相手を転送するとき、このボタンの後に転送先の内線番号をダイヤルします。
- 保留/発信 通話中の相手を保留することができます。また、電話をかけるとき、ダイヤル後にこのボタンを押して発信します。

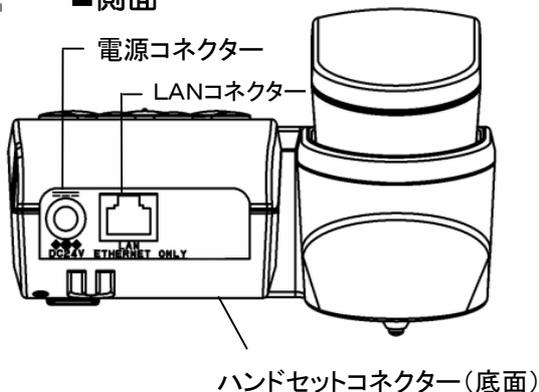
ダイヤルボタン

調整ボタン

- 通話中に、ボタン上下押下により相手の声の大きさを調節できます。
-  (スピーカーボタン)を押したときに、スピーカーからの音量を調節できます。
- 着信音が鳴っているときに着信音の音量を調節できます。
- 着信音が鳴っているときに着信音の音色を切り替えることができます。
ボタン中央部（ボタン上下同時）を押します。

※ランプ・表示(ディスプレイ)類はありません。
壁掛けには対応していません。

■ 側面



【底面】

- ハンドセットコネクター ハンドセットを接続します。

【側面】

- LANコネクター LANケーブルを介して、ネットワーク機器(HUB等)に接続するためのポートです。
- 電源コネクター オプションのACアダプター(FC820AC3)を接続する場合があります。(給電装置と接続している場合は使用しないでください。)

音色／音量を調節する

音量ボタンで着信音の音色、音量を調節することができます

着信音の音色を切り替える

音色は8種類から選べます。
着信音が鳴っているときに操作します。

- 1 音量ボタンの中央部を押します。

音量ボタンの中央部（ボタン上下同時）
を押すごとに音色が切り替わります。



スピーカ－の受話音量を調節する

受話音量は8段階から調節できます。
スピーカ－受話中に操作します。

- 1 音量ボタンの上部または下部を
押して音量を調節します。

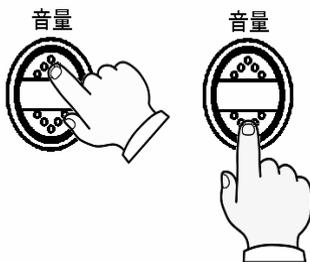
音量ボタンを押すごとに音量が変わ
ります。
音量を上げるときは上部側を押しま
す。
音量を下げるときは下部側を押しま
す。

着信音量を調節する

音量は4段階から調節できます。
着信音が鳴っているときに操作します。

- 1 音量ボタンの上部または下部を押
して音量を調節します。

音量ボタンを押すごとに音量が変わりま
す。
音量を上げるときは上部側を押しま
す。
音量を下げるときは下部側を押しま
す。



ハンドセット使用時の音量を調節する

受話音量は6段階から調節できます。

- 1 音量ボタンの上部または下部を
押して音量を調節します。

音量ボタンを押すごとに音量が変わ
ります。
音量を上げるときは上部側を押しま
す。
音量を下げるときは下部側を押しま
す。

お知らせ

- 次に操作するまで、何回着信があっても同じ音色/音量で着信します。
- 着信音量/受話音量が「最大」または「最小」になると、それ以上調整ボタンを押しても音量は変わりません。

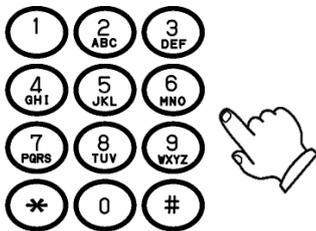
2 電話をかける／受ける

専用線発信

1 ハンドセットを上げます。
「ツーツー」という発信音を確認してください。

2 ダイヤルボタンで専用線発信特番
(たとえば   )を押します。

3 ダイヤルボタンで内線番号を押します。



4 保留/発信ボタンを押します。
「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。



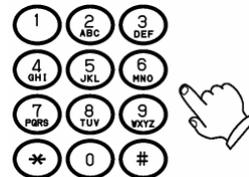
5 相手の方が出たらお話しします。

ハンドセットを上げずにかける

1 スピーカーボタンを押します。
「ツーツー」という発信音を確認してください。



2 ダイヤルボタンで相手の方の番号を
押します。



3 保留/発信ボタンを押します。
「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。



4 相手の方が出たらハンドセットを上
げてお話しします。

他の電話機に自動的に転送するには (可変不在転送／話中転送)

可変不在転送

●登録するとき

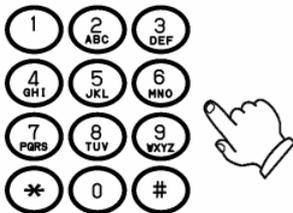
席を離れるときに他の電話機に自動的に転送されるよう登録しておきます。

1 スピーカーボタンを押します。

「ツーツー」という発信音を確認してください。



2 ダイヤルボタンで不在転送登録特番（たとえば ①①①）を押します。



3 ダイヤルボタンで転送先番号を押します。

4 保留/発信ボタンを押します。

「トゥトゥウ」という確認音が聞こえます。

保留/発信



5 スピーカーボタンを押します。

●解除するとき

可変不在転送を解除します。

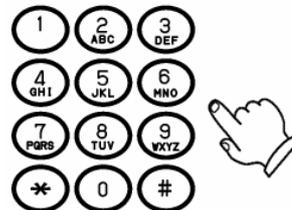
1 スピーカーボタンを押します。

「ツーツーツー」という第2発信音を確認してください。



2 ダイヤルボタンで不在転送解除特番（たとえば ①⑤①）を押します。

「トゥトゥウ」という確認音が聞こえます。



3 スピーカーボタンを押します。

●お知らせ

●可変不在転送の登録および解除の特番は、システムへの登録が必要です。登録は、システム管理者の方へおたずねください。

2 電話をかける／受ける

話中転送

●登録するとき

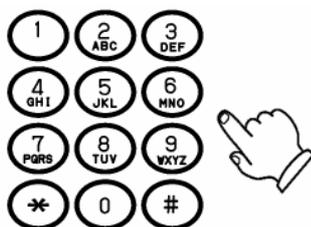
話し中のときに他の電話機に自動的に転送されるよう登録しておきます。

1 スピーカーボタンを押します。

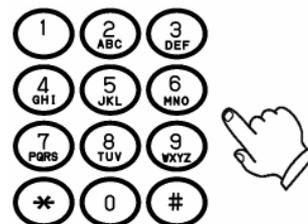
「ツーツー」という発信音を確認してください。



2 ダイヤルボタンで話中転送登録特番（たとえば ①①②_{ABC}）を押します。



3 ダイヤルボタンで転送先番号を押します。



4 保留/発信ボタンを押します。

「トゥトゥトゥ」という確認音が聞こえます。

保留/発信



5 スピーカーボタンを押します。

●解除するとき

話中転送を解除します。

1 スピーカーボタンを押します。

「ツーツー」という発信音を確認してください。



2 ダイヤルボタンで話中転送解除特番（たとえば ①⑤_{JKL}②_{ABC}）を押します。

「トゥトゥトゥ」という確認音が聞こえます。

3 スピーカーボタンを押します。

●お知らせ

- 話中転送の登録および解除の特番は、システムへの登録が必要です。登録は、システム管理者の方へおたずねください。

単体現調について (現調およびシステム管理者の方対象)

P.18～P.20 は現調およびシステム管理者の方を対象として記載しています。
単体現調は、本装置が正常に立ち上がる(壊れていない)ことの確認であります。
以下に確認方法について示します。

単体現調の確認方法として電話機とパソコンを接続して ping を実施します。

3.0 単体現調について

3.0.1 単体現调用パソコンの準備

特に規定致しませんが、電話機と LAN ケーブルで接続するため、LAN と接続できるインタフェースを持つパソコン、及び TELNET のできる OS とソフトウェアを用意してください。ここでは、Microsoft[®] Windows[®] XP (以下 Windows XP と称す) を例に説明します。

3.0.2 電話機とパソコンの接続

電話機とパソコンを接続する場合、以下の2通りあります。それぞれに従って接続してください。
尚、LAN ケーブルは”ストレート”、”クロス”どちらでも使用できます。

(1) 電話機の給電に AC アダプタ(FC820AC3)を使用する場合

- ① パソコンと電話機の電源が切れていることを確認します。
- ② パソコンの 10/100BASE-TX ポートに LAN ケーブルの一方のプラグを差し込みます。
- ③ 電話機の裏面にある「LAN」ポートに LAN ケーブルの一方のプラグを差し込みます。
- ④ 電話機の裏面にある電源コネクタに AC アダプタ(FC820AC3)を差し込みます。
- ⑤ AC アダプタ(FC820AC3)をコンセントにつなぎます。約 30～40 秒で電話機は立ち上がります。
- ⑥ パソコンの電源を投入します。

(2) 電話機の給電に給電 HUB(iS2124vp/iS2116vp)を使用する場合

- ① パソコンと電話機の電源が切れていることを確認します。
- ② パソコンの 10/100BASE-TX ポートに LAN ケーブルの一方のプラグを差し込みます。
- ③ 電話機の裏面にある「PC」ポートに LAN ケーブルの一方のプラグを差し込みます。
- ④ 電話機の裏面にある「LAN」ポートに給電 HUB に接続された LAN ケーブルの一方プラグを差し込みます。
電話機は給電され、約 30～40 秒で電話機は立ち上がります。
- ⑤ パソコンの電源を投入します。

上記以外に、直接電話機とパソコンを接続せずに、L2 スイッチを用いて接続する方法もあります。

3 ご参考に

3.0.3 確認用パソコンの IP アドレス設定／確認

(1)電話機と通信できるようにするため、確認用パソコンの IP アドレスを設定します。
(Windows XP にて以下説明します。)

- ①「スタート」ボタン→「コントロールパネル」をクリックします。
- ②「ネットワーク接続」をダブルクリックします。
- ③「ローカルエリア接続」をダブルクリックします。
- ④ 全般の中の「プロパティ」をクリックします。
- ⑤ 全般の中の「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
- ⑥「IP アドレスを指定する」にチェックをし、IP アドレスを 192.168.1.x、サブネットマスクを 255.255.255.0 と入力し OK をクリックします。(x は 80 を除く 1～254 です)
電話機の IP アドレスは 192.168.1.80(初期値)に設定されています。

(2)上記(1)で設定した IP アドレスを確認します。

- ①Windows XP の場合
「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順に
クリックします。
- ②「コマンドプロンプト」ウィンドウが表示されます。
- ③次のように入力し、【Enter】キーを押します。
ipconfig
- ④パソコンの IP アドレスが正常に表示されているか確認します。
(パソコンの IP アドレスが 192.168.1.100 の場合)

```
IP Address.....192.168.1.100
Subnet Mask.....255.255.255.0
Default Gateway.....192.168.1.1
```

- ⑤次のように入力し、【Enter】キーを押します。
exit
「コマンドプロンプト」ウィンドウが閉じます。

3 ご参考に

3.0.4 確認用パソコンから ping コマンドで確認

確認用パソコンから電話機に対して ping コマンドを使用して、単体現調範囲での正常性を確認します。(Windows XP にて以下説明します。)

①Windows XP の場合

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。

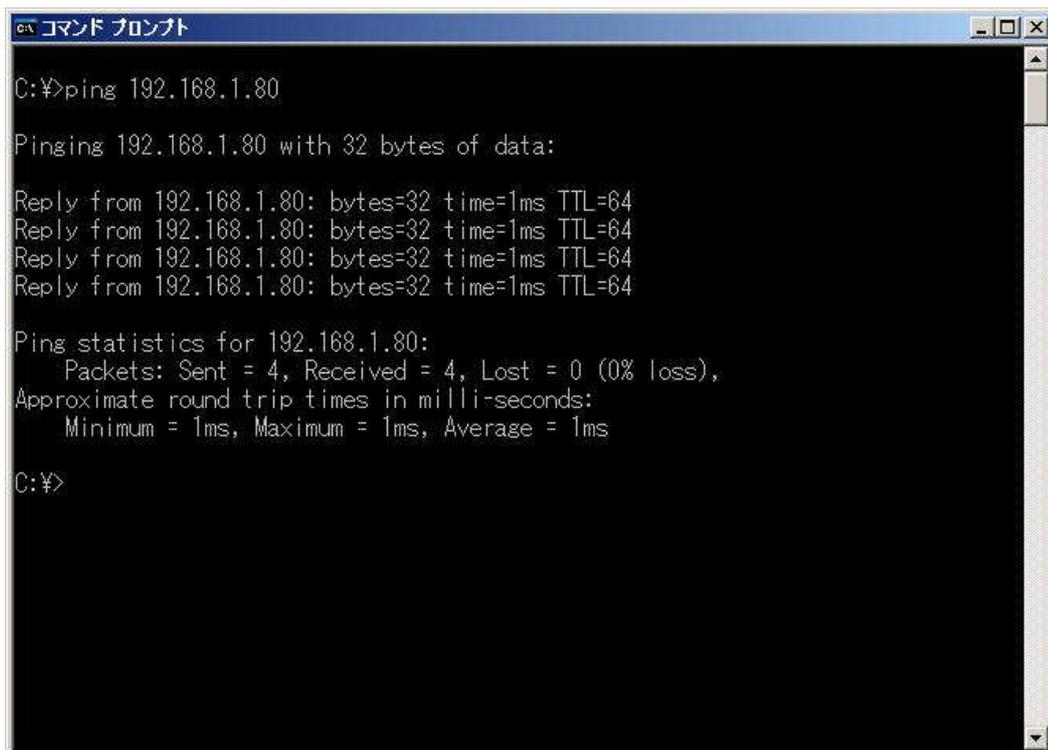
②「コマンドプロンプト」ウィンドウが表示されます。

③電話機に対し Ping による通信確認を行います。

次のように入力し、【Enter】キーを押します。(電話機の IP アドレスが 192.168.1.80 の場合)

```
ping 192.168.1.80
```

電話機と正常に接続ができている場合は、パソコンで次のように表示されます。



```
コマンド プロンプト
C:\>ping 192.168.1.80

Pinging 192.168.1.80 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.1.80: bytes=32 time=1ms TTL=64

Ping statistics for 192.168.1.80:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
    Approximate round trip times in milli-seconds:
        Minimum = 1ms, Maximum = 1ms, Average = 1ms

C:\>
```

「Request time out」「Destination host unreachable」などと表示される場合は、電話機とパソコンとの通信が行えない状態です。以下の確認を行ってください。

◆パソコンで IP アドレスが正しく設定されているか確認してください。

◆LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

※参考: 必要に応じて TELNET 接続時の入力エコー設定を行ってください。

◆Windows XP の場合、以下のコマンドによりエコー設定が可能。

```
set local_echo (ローカルエコー有り)
```

```
unset local_echo (ローカルエコー無し)
```

④次のように入力し、【Enter】キーを押します。

```
exit
```

「コマンドプロンプト」ウィンドウが閉じます。

以上、単体現調での確認方法です。

設定データについて

P.20～P.22 はシステム管理者の方を対象として記載しています。

設定データは、本装置に設定したデータの内容を忘れないようにするためや、本装置が壊れた場合、電話機を交換する際に交換前と同じ状態に設定することができます。設定データを保存しておくことをお勧めします。

以下に設定データ確認方法、および保存方法について説明します。

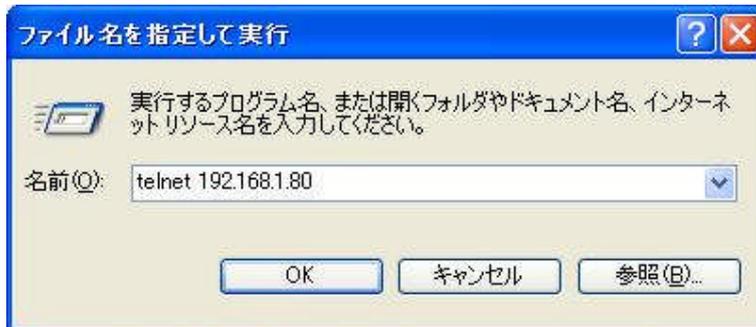
3.1 設定データについて

3.1.1 設定内容の確認方法

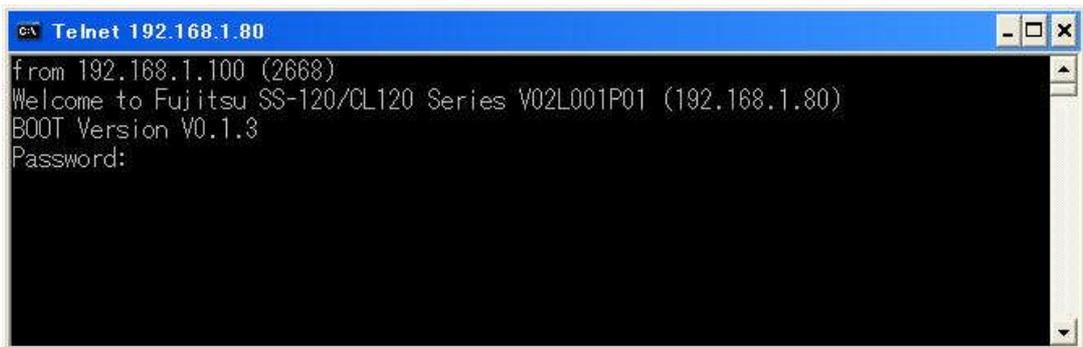
- (1) 電話機とパソコンの接続方法等については、3.0.1、3.0.2、3.0.3 項を参照願います。
- (2) パソコンから電話機に対して TELNET 接続します。

① Windows の  をクリックして、[ファイル名を指定して実行]をクリックします。

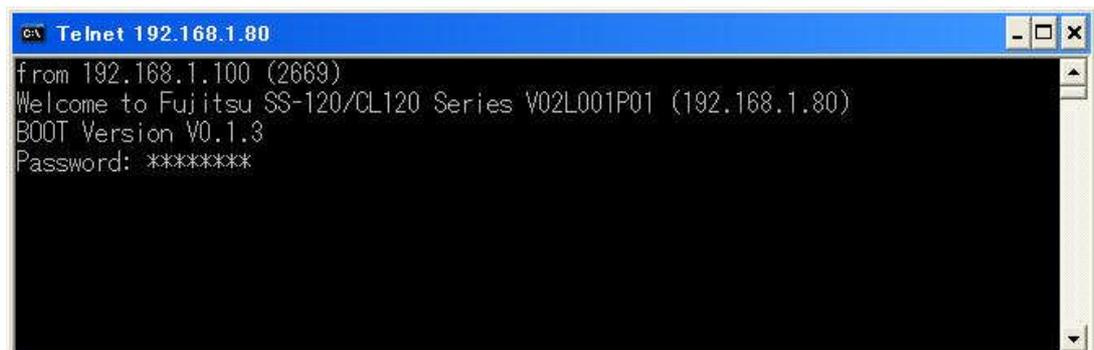
② 「telnet 192.168.1.80」と入力し、OK をクリックします。



③ Password: が表示されることを確認します。
(下記表示は、例として 192.168.1.80 に接続しています。)

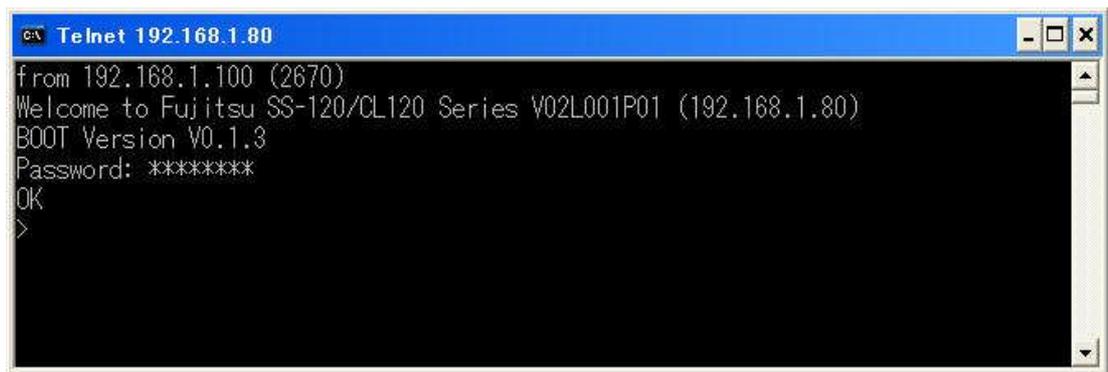


④ マネージャパスワードを入力します。(マネージャパスワード:99999999)



3 ご参考に

⑤コマンド入力が可能になります。



⑥configshow コマンドを実行します。
実行結果イメージ(例)を以下に示します。

```
>configshow
##### BASIC INFORMATION #####
setauto 0
setmyip 192.168.1.100
setnetmask 255.255.255.0
setgw 192.168.1.1

sethold 1
setbklight 1
settelbookip -l ibis -p ibis -s 192.168.1.5 -po 7717
download -f ¥apptest.bin.gz -l anonymous -p ibis -s 192.168.1.200
##### SIP CONFIG #####
setdomain sip.fujitsu.com
setregsv 2
setunregsnd 1
setregexpire 3600

setotherauto 1
setprot 0
setpsprot 1
setholddisp 1
##### FUNCTION KEY INFORMATION #####
setfkey -k 00 -f 21 -a1 16
setfkey -k 01 -f 22 -a1 15

setfkey -k 33 -f 22 -a1 19
setfkey -k 34 -f 22 -a1 24
##### DIAL PLAN INFORMATION #####
setdpln -s 01 -d 111
setdpln -s 02 -d 151

setdpln -s 21 -d 133
setdpln -s 22 -d 139
```

3 ご参考に

3.1.2 設定データの保存方法

3.1.1 で確認した内容をテキストデータとして設定データを保存します。

(1) configshow コマンドを実行します。(3.1.1⑥を参照願います。)

(2) 上記(1)の結果をテキストに貼り付けて、ファイルを保存します。

※configshow コマンドの情報を使用して電話機を設定する場合には、必ず電話機を一度初期化してから設定してください。

※SIP 認証ユーザ設定および SIP 認証パスワード設定は、configshow コマンドを実行しても表示されません。configshow コマンドの情報を使用して電話機を設定する場合には、必ず SIP 認証ユーザ設定および SIP 認証パスワード設定を後から設定してください。

※configshow コマンド表示は、CR(キャリッジリターン)+LF(ラインフィード)を改行として使用し表示しています。ご使用になるエミュレータソフトによっては改行されないで表示される場合があります。ご使用になるエミュレータソフトの設定で調整をお願いします。

【ご注意】

ファームウェアのバージョンが V1 の場合は、configshow コマンドの結果とコマンド実行形式が一部異なります。以下の表を参考にして、テキスト上でコマンドの修正をお願いします。コマンドが修正できたら、テキストデータを保存します。

【ご注意】

configshow コマンドを実行した場合、電話帳情報は保存できませんので保存が必要な場合は以下のいずれかのツールを使用して保存してください。詳細な保存/復元方法については各ツールの説明書を参照してください。

- ・電話帳編集ツール
- ・保守ツール
- ・Web保守サーバ

【修正項目】

項	表示結果(例)	修正コマンド形式(例)
1	autosetup 0	setauto 0
2	mac 00:e0:00:ca:6f:d9	削除
3	sethotline -v 0 -d	sethotline -v 0 (ダイヤル数字を未設定の場合は、“-d”を削除する。)
4	settosrtcp: 5	settosrtcp 5 (“: “を削除)
5	settosras: 4	settosras 4 (“: “を削除)
6	settosrtcp: 0	settosrtcp 0 (“: “を削除)
7	setechocan: 1	setechocan 1 (“: “を削除)
8	sethf: 0	sethf 0 (“: “を削除)
9	setproductid: 1	setproductid 1 (“: “を削除)
10	setinlamp: 1	setinlamp 1 (“: “を削除)
11	setbklight: 1	setbklight 1 (“: “を削除)
12	settelbookip login: ibis passwd: ibis settelbookip server: 192.168.1.5 port: 7717	settelbookip -l ibis -p ibis -s 192.168.1.5 -po 7717
13	download filename: lt_run.70a login: ibis passwd: ibis download server: 192.168.1.64	download -f lt_run.70a -l ibis -p ibis -s 192.168.1.64
14	set38cap 0	set38cap 0
15	setreg configure the same to setpxy	削除: setregsv 2 (初期値)の場合左記のように表示されます。 setregsv 0 or 1 の場合は、下記のように表示されます。下記表示の場合には削除、修正は不要でそのままコマンドとして使用できます。 setreg -n 1 -i 192.168.1.64 -p 5060

以上、設定データ確認方法、および保存方法です。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。

こんなときは	原因	確認してください
ハンドセットを上げても発信音が聞こえない、または、通話中に相手の声が聞こえなくなった	ハンドセットコードやLANケーブル／ACアダプターコードがはずれている	正しくしっかり差し込んでください。コードのプラグは深く差し込んでください。
ダイヤル発信時、相手につながるまで時間がかかる	相手番号ダイヤル後、保留／発信ボタンを押していない	ダイヤル後、保留／発信ボタンを押すことにより発信します。ダイヤル後に保留／発信ボタンを押さないと、一定時間（約4秒）後に発信します。
通話が切断されない、または、電話がかかってこない	ハンドセットが正常に電話機に置かれていない	ハンドセットを逆さ（コードの出ている側をフックボタン側）にして置くと、正常に動作しないことがあります。
電話機から変な音がなる	停電が復旧したか、電源OFF/ONやLANケーブル差し込みなどをおこなった	停電復旧、電源OFF/ONやLANケーブル差し込み時など、電話機が動作可能状態になりますと、「プープ」の音がなります。機器の故障ではありません。

仕様

● 電話機の仕様

○：機能あり、×：機能なし、OP：オプション（別手配）

機 能	品 名	CL120
固定機能ボタン		○（4個）
電子電話帳		OP（PC連携）注1
発信履歴（20件）		OP（PC連携）注1
着信履歴（20件）		OP（PC連携）注1
給電方式	センター給電 注2	○
	ACアダプター	OP（FC820AC3）
定格電流（A）		約0.13
幅（mm）		約136
奥行（mm）		約203
高さ（mm）		約79
質量（g）		約480

注1：オプションで「PC連携アプリケーションソフトウェア」をご購入すると、本製品とパソコン間で連携し、電子電話帳を使用してパソコンからの発信操作や発着信履歴といった機能を利用することが出来ます。詳しくは「PC連携アプリケーションソフトウェア」に添付されている使用手引書をご覧ください。「PC連携アプリケーションソフトウェア」のご購入については、本製品をお買い上げになった販売店にお問い合わせください。

注2：給電装置は以下の製品が推奨品となっています。

(1) iS2124VP

(2) iS2116VP

3 ご参考に

● 別売品一覧表

本製品には以下の別売品が用意されています。

品名	数量	備考
A Cアダプター	1個	型名：FC820AC3
ハンドセット	1個	型名：FC836HS1
受話器コード	1セット	型名：FC162A42MG、10本／1セット

● 補修用性能部品の最低保有期間

当社は電話機の補修用性能部品を製造打切り後7年間保有します。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

注 意

本製品は、海外為替及び外国貿易法が定める規制貨物に該当します。

本製品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取ください。

NOTICE

This product which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.

☎☎☎MEMO☎☎☎

A large, empty rectangular box with a black border, intended for writing a memo.

お問い合わせ先

富士通株式会社

※製品改良のため仕様やデザインの一部を予告なく変更することがありますのでご了承ください。

2010年2月 T101-1046-02